



### 会派一同 申年一年 がんばります！

山岸喜昭 (副代表)	小島康晴 (副代表・副議長)	下沢順一郎 (代表)	竹内久幸 (相談役)	高橋 宏 (顧問)
荒井武志 (広報企画委員長)	吉川彰一 (財務委員長)	小林東一郎 (政務調査会長)	依田明善 (幹事長代理・政策審議会長)	石和 大 (幹事長)
花岡賢一 (副広報企画委員長)	寺沢功希 (副政務調査会長)	今井愛郎 (副広報企画委員長)	埋橋茂人 (副政策審議会長)	堀場秀孝 (副政務調査会長)

## 代表年頭ご挨拶

新年を迎え、さらなる県政発展・県民生活向上のため、会派一同決意を新たにしています。

昨年は、ここ数年来課題の領土や主権、経済圏問題に加え強硬派による宗教対立など、国際情勢が節目の年であったと思います。

国内でも、新たな経済圏としてのTPPの大筋合意による影響懸念や、消費税率の引き上げに伴う軽減税率問題、安保関連法案の成立など、重要課題が目白押しでもありました。

そのような中、県は、人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造

をはじめとする「人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」を決定しました。

私たちは会派は、「県政改革の理念を共有し、県政に常に新しい風を送り、未来の信州を創っていく」という基本理念のもと、先に知事に提出要望した「平成28年度予算編成と当面の課題に関する提案書」をもとに、

県民にわかりやすく簡素で効果的な県政運営のため、情報公開を一層推進し県民が参画しやすい県政を目指してまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 11月定例県議会

# 1億4千万円余の補正予算、登山安全条例などを可決

### 補正予算のポイント

○「信州の山」の魅力や価値の発信 1306万円

「信州の山」の魅力発信のため県内外への広報を実施、安全登山のガイドラインを策定、国民の祝日「山の日」記念全国大会(仮称)の支援

○福祉のまちづくりの推進 334万円  
福祉のまちづくり周知用パンフレットの作成やパーキング・パーミット



浅間山(前掛山)に設置されているシェルター

## 「登山を安全に楽しもう！」 「登山安全条例」の概要

制度の利用証等を作成

○子育て支援の充実 998万円  
国による「子育て支援パスポート」の協賛店舗の募集(2000店舗)  
や事業の周知  
○道路、河川の復旧

台風等により被災した道路、河川の迅速な復旧工事を実施(道路の舗装修繕83か所、法面補修3か所、河川の護岸補修3か所)

県は、多くの登山者が長野県へ来訪し滞在してもらえるよう登山の安全対策を総合的に推進するための「登山安全条例」を提案、県議会は、全会一致で可決しました。

また、遭難発生のおそれが高い山岳の登山道は「指定登山道」として登山計画書の届出が義務付けられ、施行日は平成28年7月1日になりました。

## 「福祉のまちづくり条例」を一部改正 誰もが安心して行動できる社会に...

この一部改正条例は、いわゆるバリアフリー法の基準適合義務が生じる施設を対象を、公共性や障がい者等の利用度が高い施設について、現行の延べ床面積2000㎡以上を1000㎡以上へ拡大するほか、対象施設には県独自の整備基準を追加するものです。

また、障がい者や妊産婦等の方々の円滑な駐車場利用を促進するため、優先駐車区画の利用証交

付などを行う「信州パーキング・パーミット制度」を導入することになりました。

## 議員提出の「信州の地酒で乾杯」条例案が可決成立

県議会は、県内で造られる清酒やワイン、ビール、ジュースなどのノンアルコール飲料などでの「乾杯」を通じて、地域資源である地酒等の一層の普及を促進するため、「信州の地酒普及促進・乾杯条例」案を議員提出し、全会一致で可決しました。

県や事業者には積極的な取り組みを、県民の皆様には協力をお願いする内容になっています。

まずは地酒等で乾杯を健康に留意し飲酒運転をせず、楽しい酒席にしていきたいものです。

今後、多目的トイレへの大人用介護ベットの設置や、ホテル等の客室への障がい者用情報伝達設備の設置などの取り組みが期待されるところです。

県議会は、県内で造られる清酒やワイン、ビール、ジュースなどのノンアルコール飲料などでの「乾杯」を通じて、地域資源である地酒等の一層の普及を促進するため、「信州の地酒普及促進・乾杯条例」案を議員提出し、全会一致で可決しました。

県や事業者には積極的な取り組みを、県民の皆様には協力をお願いする内容になっています。



会派の仲間で同学年の堀場議員の議事を進行

# 小島康晴の 県政レポート VOL 35

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。  
**長野県議会 信州新風みらい**  
〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP:http://shinshinmirai.com  
E-mail:info@shinshinmirai.com

## リニア・三遠南信の時代に向かって

### 「人口定着・確かな暮らし」飯田で実現を

県政報告第35号をお届けします。長野県は10月22日、「人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」を決定しました。広い長野県にあつては、それぞれの地域がこの戦略にそって成果をあげ、光り輝いていかなければなりません。7年に一度の「お練りまつり」の今年、その大切な第一歩としたいものです。

### リニアをめぐる動き

建設工事については、県内路線の明かり区間について、中心線測量が9月に終了し、南アルプストンネル長野工区工事も今月末には契約の予定です。また、発生土置き場についても、優先順位の高い候補地から測量や環境調査を実施し、関係自治体と協議中です。保安林解除に関する長野庁との協議も開始されました。このような中、11月24日には、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会の総会が開催され、JR東海に対して地元業者の活用などを求める6項目の決議を行いました。

### リニアを地方創生に活かす

12月2日には、上下伊那選出県議と県リニア担当部局との勉強会を開催しました。また、12月14日には、飯伊選出県議と広域連合(14市町村長)とで、駅周辺整備や旧工業高校の利活用等について意見交換を行いました。私としては、駅を目指すべき姿をわかりやすく示すべきこと。土地の限られた地域では駅周辺に全てを求めることはできず、「伊那谷まるごと駅前広場」の発想で取り組むこと。そのためにも郡市民一人ひとりがリニアとの関わりを考えてもらえるような仕組みをつくること、など提案しました。

「千載一遇のチャンス」といわれるリニアですが、これを活かすには、議論は尽くした上で、決まったことはみんな力で合わせていくことが欠かせません。また、島根県中山間地域研究センター研究統括監の藤山浩さんは、「人口とは、人生の数に他なりません。つまり、抽象的な1億という数字ではなく、1億人の人生の問題なのです。数さえ多ければよいということではありません。幸せで美しい人生を一人一人が具体的に享受することが一番大切なことです。」と述べています。私もこのことを肝に銘じて取り組みます。

## 年頭にあたって

あけましておめでとうございます。私事ながら今年還暦となります。人生の節目の年、決意も新たに、県政発展と県民生活向上のため、政務活動に誠心誠意取り組んでまいります。本年もよろしくお願ひいたします。(公職選挙法により市内への年賀状は欠礼いたします)

### 阿部知事に 意見・要望

副議長は一般質問を行わないため、定例会の前段に行われる知事と正副議長・各派代表者との懇談会は、知事等に提言・要望する貴重な機会です。今回(11月11日)は次の3点を提起しました。  
**県境を超えた交流支援**  
矢筈トンネル開通以来



県協議会総会であいさつ

### 元気づくり支援金の活用

今年度の事業実施後に3年前の改正の検証をするとのことであるが、それでは来年度もこのままということになってしま

### ロボット開発

筑波大学が開発したロボットスーツHAL(前号で紹介)が、医療機器として保険適用が認められるとのこと。信州大学としつかり連携して、県内経済活性化のためにも遅れを取らないように取り組んでいきたい。

### 広報委員会活動から

議場説明は約8千人に  
県民に身近な議会づくりの一環として、県庁見学に訪れた小学生の議場見学時に、正副議長や広報委員などが説明をする取組を実施しました。今年度は全体で133校、7、8、14人に実施し、このうち私は、58校(79回)3、121人の皆さんに説明できました。

### こんにちは県議会です

広報委員会では、今年度2回目の「こんにちは県議会です」を、1月19日に平谷村と売木村で開催します。正副議長、広報委員、地元県議が出席し、中山間地域の住民の皆さんと意見交換を行い、地域の課題を把握するための実施するものです。また、11月定例会の状況などお知らせするチラシ版「こんにちは県議会です」は、1月17日(日)に新聞折込にて配布いたします。是非ご覧ください。



ベトナム大使(右から2人目)と



高遠発電所起工式



元気よく入場する県選手団



下伊那郡西部の議長や村長さんと

### 副議長の公務から

11月4日、グエン・クオック・クオン駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使が正副議長を表敬訪問されました。懇談の中では、いっそうの交流の促進と日越友好議員連盟の設立を要請されました。

### 発電所の起工式

県企業局が新たに建設する、奥裾花第2発電所(10月30日)と高遠発電所(11月11日)の起工式に、県議会の代表として出席しました。新しいエネルギーの地産地消の拠点としての運用が期待されます。

### 全国障がい者スポーツ大会

10月24日、和歌山県で開催された第15回全国障がい者スポーツ大会の開会式に出席し、結団式で県選手団を激励しました。皇太子殿下のご臨席の下、全国から選手団、観覧者、大会関係者約1万5千人が参集し、様々なアトラクションも披露され、心に残る開会式でした。

### 陳情等の受理

11月10日には、下伊那郡西部村議会議員会からの陳情を、11月26日には、売木村及び売木村議会からの陳情を受けました。いずれも道路の整備をはじめ地域のみなさんにとって欠くことのできない課題ばかりであり、県議会としてもしっかりと取り組むたいと考えます。